

## 食のイノベーション推進事業の取組状況について

### 1 要旨・目的

農水産事業者の「稼ぐ力」を高めることを目的に実施している「食のイノベーション推進事業」について、取組状況を報告する。

### 2 現状・背景

県では、生産性の高い農業を取り入れて安定した所得を確保しながら、本県の農業をリードする企業経営体の育成支援を進めている。その中で「異業種と連携したい」、「社会環境の変化をビジネスにつなげたい」など、新たなビジネスの創発を希望する意欲的な農業経営体が現れており、こうした経営体の経営発展を促すため、多様な業種の企業と農業経営体が連携し、専門家のアドバイスを受けながら、新商品やサービスの提供など、新たな「食」のビジネスを創発する取組を進めるプログラム「Hiroshima FOOD BATON（ひろしまフードバトン）」を実施している。

こうした中、令和4年度及び令和5年度の事業に対して様々な分野から関心が高まっていることから、令和6年度より農業分野に加え水産分野にも対象を広げて募集を行い、現在、9月の採択審査に向けて、実行計画の精緻化に取り組んでいる。

### 3 これまでの採択者に係る取組概要

#### (1) 令和4年度採択プロジェクトの概要

ア プロジェクト名：薬局 DE 野菜（やっきょくでやさい）

(ア) 起案代表者：株式会社 FARMERS PROFIT 竹内正智（広島市）【青果物卸売業】

(イ) 取組内容

- ・ 健康をテーマにした野菜販売の「棚」を調剤薬局に設置。
- ・ 機能的食品野菜の獲得による高付加価値化、市場性の高い野菜の生産者育成に挑戦。

(ウ) これまでの成果

- ・ 薬局という新たな野菜の販売先のほか、県内産の野菜を供給する独自物流網の構築により、無印良品など新たな県内産の野菜売り場の展開など生産者の販売機会の創出につながった。



イ プロジェクト名：HIROSHIMA HYBRID DESIGN（ひろしまハイブリッドデザイン）

(ア) 起案代表者：株式会社 ATORA 小野 敏史（広島市）【食品製造業】

(イ) 取組内容

- ・ 高品質な冷凍食品の商品化で、食の新たな可能性を追求。

- ・ 比婆牛をはじめとした県産食材を使った新たなブランド価値創出モデルに挑戦。



(ウ) これまでの成果

- ・ 鮮度が落ちやすい等で販売機会が限られていた規格外農産物を超瞬間冷凍・加工技術で周年での販売機会の創出し、フードロス削減につながった。
- ・ 飲食店向けのモデル店舗の立ち上げにより、県内外の飲食店向けに比婆牛等のレシピ提案を行い、取扱いが拡大。
- ・ オンライン販売では目標とする売り上げを達成するとともに、飲食店経営など他業種にも進出。

ウ プロジェクト名：comorebi commune (こもれびコミュニティ)

(ア) 起案代表者：合同会社 comorebi farm 小嶋正太郎 (尾道市)

【農業経営体 (八朔、安政柑)】

(イ) 取組内容

- ・ 因島で、柑橘の半農半Xによる耕作放棄地問題の解決を志向。
- ・ 東京のクリエイター等と連携したコミュニティ作りで新たな新規就農モデルに挑戦。



(ウ) これまでの成果

- ・ 帝国ホテル、ピエールエルメなど有名ブランドでの八朔ドリンクの採用。
- ・ 半農半Xでのクリエイターの新たな新規就農モデルの構築を行い、耕作放棄地の解消と新たな新規就農者1名の確保につながった。

(2) 令和5年度採択プロジェクトの概要

ア プロジェクト名：Fair-Farm Credit (フェアファームクレジット)

(ア) 起案代表者：株式会社 Rev0 本多正樹 (安芸高田市) 【農業経営体 (水稻)】

(イ) 取組内容

- ・ 温室効果ガス削減に寄与する水稻の中干し 延長でクレジットを創出・販売。
- ・ 生産者主体で一次産業の脱炭素化の推進モデル創出に挑戦。



(ウ) これまでの成果

- ・ 生産者を束ねる協議会を設立 (8 経営体、取組予定面積：約 307ha)。

イ プロジェクト名：MOTTAINAI BATON (モッタイナイバトン)

(ア) 起案代表者：MOTTAINAI BATON 株式会社 目取眞興明

(東京都 (広島県に移転予定)) 【販売・サービス業】

(イ) 取組内容

- ・ 廃棄される「もったいない」食材を活用したレトルトカレーを企画・開発。

- ・ 学校の探究学習等を通じた「エシカル消費×地域活性化」モデル創出に挑戦。

(ウ) これまでの成果

- ・ これまで廃棄された農水産物をレトルトカレーに加工・販売。(例：向原高校で安芸高田市のチンゲンサイ、青ネギを利用したカレーを製造)。
- ・ 学校の探究学習等で学生と一緒に取り組むことで、県産農産物への理解促進にも寄与した。



ウ プロジェクト名：FARM TO BABY (ファームトゥベイビー)

(ア) 起案代表者：一般社団法人 KURU KURU 矢野智美

(安芸高田市)【農業経営体 (水稲)】

(イ) 取組内容

- ・ 特定米穀 (くず米) を用いた安価で栄養成分に配慮した ベビー幼児フードを提供。
- ・ 農村ならではの食のこだわりで付加価値をつけ、地域発展モデルに挑戦。



(ウ) これまでの成果

- ・ 安価に取引されている特定米穀をベビー幼児フードに加工し、試験的に予約販売を開始。

(3) 今年度の取組概要

ア 参加事業者の募集

本事業を推進する特設サイトで、広島県内の農水産事業者や全国の多様な業種の企業の募集を行った。

(ア) 募集期間

令和6年4月30日(火)～6月30日(日)

(イ) 応募方法

特設サイト (URL : <https://www.hiroshima-ouen.com/hiroshima-foodbaton>) により応募

(ウ) 募集テーマ

- いつも美味しい農水産物の価値が味わえるビジネスの創出
- 多品種・多商品型の地域食品加工サービスビジネスの創出
- 地域コミュニティ共創による農水産ブランドビジネスの創出
- 「食」を楽しくする「農水産」体験ビジネスの創出
- フードロス減らす新たなエシカル消費型ビジネスの創出
- 環境価値を活用した食の循環経済ビジネスの創出
- 多様な人材ネットワーク活用によるワークシェアビジネスの創出
- 農水産物を適時に安定供給できるサプライチェーンビジネスの創出
- 市場ニーズを踏まえた農水産物開発・販売の最適化ビジネスの創出

(エ) 募集イベントの開催

日時：令和6年5月16日（木）13:00～15:30

場所：牡蠣と肉と酒 MURO（広島市中区三川町10-13）

(オ) オンライン個別相談会の開催

【実施日時】令和6年5月13日（月）～6月21日（金）

【申込方法】上記の特設サイト URL 内の申込フォームから申込。

イ プロジェクトチームの立ち上げ

今後、応募事業者に対し、事業構想の作成支援、農水産事業者と企業のマッチング、プロジェクトの実行計画の作成支援を行い、9月を目途に3件のプロジェクトの立ち上げを行う予定である。

ウ プロジェクトの実行計画に基づく新たなビジネスの実現に向けた支援等

- ・新商品や新サービスの提供に向けた専門家による課題解決支援
- ・現地実証に係る経費の支援
- ・今年度支援件数 9件

【支援件数内訳】

新規採択（令和6年度採択）：3件、採択2年目（令和5年度採択）：3件、

採択3年目（令和4年度採択）：3件

(4) 予算（単県）

50,000 千円